

本作の脚本家、タウフゴルト

(ハイケ・タウフとフロリアン・ゴルトベルクによる劇作家ユニット)はこう語る。

「数百年にわたり弾き継がれ、戦争や平和の時代を乗り越えてきたヴァイオリンがあります。ヴァイオリニストは寄贈者から楽器を借りているだけでなく、いつか返却するときまで、ある意味で時間を借りているといえます。

つまり、楽器は演奏者を単なる現在から、  
音楽や政治、社会の歴史へと導いてくれるのです」

タウフゴルトは、借景で知られる京都の圓通寺を訪れたときの強い印象から、  
本作を『借りた風景』と名付けた。

## 明子さんのピアノ

ロサンゼルス生まれの河本明子さんが愛用した1926年アメリカBaldwin社製のピアノ。1945年、明子さんは被爆翌日に19歳で亡くなりました。ピアノは爆風により、多くのガラス破片で傷つきました。2005年、明子さんのご遺族よりピアノを譲り受け、調律師坂井原浩氏による困難な修復作業を経て音色が蘇りました。「明子さんのピアノ」はあの日を伝える貴重な「被爆遺品」として、マルタ・アルゲリッチ、故ピーター・ゼルキンなど世界的ピアニストをも魅了する優しい音色で平和の調べを奏でます。



撮影:中奥岳生

広島市平和記念公園レストハウスに常設展示。一般社団法人「HOPEプロジェクト」が、被爆したこのピアノを明子さんのご遺族から譲り受け、保管している。

## プログラム・ノート

第二次世界大戦で生き残った実在する3つの楽器。

今を生きる架空の音楽家の視点で、  
それらの楽器が歩んできた歴史と、その記憶が語られる。  
楽器は、モノは、持ち主の手を、かつてあった場所を記憶しているのだろうか……

虚構と現実が混在しながら、戦争と平和、避難と追放、  
そして人びとに美と相互理解をもたらす芸術の意義という普遍的な主題を問いかける。

### ◆ 実在する3つの楽器

#### フバイのヴァイオリン

1726年製ストラディヴァリウス。ハンガリー出身の傑出した名ヴァイオリニスト、作曲家・音楽教育者であるイエネー・フバイ(1858～1937)が使用していた。フバイの死後、ヨーロッパに戦火が広まり、楽器を守るためブダペスト(ハンガリー)のフバイの宮殿地下に隠された。

#### イスラエル・フィル元団員 エリ・マゲンのコントラバス

第二次世界大戦の開戦直前、ユダヤ人であるエリの一家はナチスの迫害から逃れるためポーランドからパレスチナ地域に移住した。エリの父が船乗りの資格を手に入れたことでパレスチナ地域への移住を認められた。戦後に生まれたエリはコントラバス奏者となり、後にポーランドの仲買人から壊れたコントラバスを買った。

#### 明子さんの被爆ピアノ

1926年アメリカ・ボールドウィン社製。ロサンゼルス(アメリカ)で生まれた河本明子さんが愛用し、1933年、一家と共に広島へ。1945年8月6日、明子さんは広島への原爆投下で被爆し、翌7日に19歳の生涯を閉じた。ピアノは爆風により、多くのガラス破片で傷ついた。

### ◆ 今を生きる3人の架空の音楽家

……広島で開催される記念コンサートに、トリオで演奏するために招かれた3人。

**女性ヴァイオリニスト** フバイが使用していたヴァイオリンを手にしたコンサートマスター。

**男性コントラバス奏者** 父が元演奏家で、ポーランドからパレスチナ地域に移住。現イスラエル在住。

**女性ピアニスト** 日本人の両親のもとカリフォルニアで生まれた日系アメリカ人。

## ◆ 物語に登場する 用語・実在の地名・実在の人名

ラーヘル・ファルンハーゲン (1771～1833)  
ベルリンでサロンを主宰したユダヤ人初のインテリ女性。ユダヤ教徒や女性解放について積極的に発言。ハンナ・アーレントが伝記を著した。

### フバイ宮殿の白の音楽サロン

名ヴァイオリニスト、イエネー・フバイがブダペストのドナウ川のほとりに建てた家の中に作った音楽サロン。1920年から1944年まで毎週(1937年フバイの死後は一時中断)「午後のコンサート」が開かれ、メニューインやホロヴィッツなど著名な演奏家が多数出演。文化人や政治家が集った。

### ニコロ・パガニーニ (1782～1840)

超絶技巧者として名高いイタリアのヴァイオリニスト・作曲家。

### 魂柱(こんちゅう)

ヴァイオリン族の表板と裏板の間に立つ木製の小さな円柱状のパーツ。振動(音エネルギー)を裏板に伝える重要な役割を持つ。

### シオニスト

19世紀末から盛んになったナショナリズム運動「シオニズム」を信じる人々。世界各地に離散していたユダヤ人の故郷をパレスチナ地域に建設すべきと考えた。

### アトリット

パレスチナ地域にある町。1903年からユダヤ人入植地として整備。(現イスラエル領土内)

### ドレスデン

ドイツ東部の都市。1945年2月の無差別爆撃で壊滅的被害を受けた。

### ボンベイ

イタリアの古代都市。西暦79年ヴェスヴィオ火山の大噴火で消滅。

### ジャコモッティ (1901～66)

第二次大戦後の細長い人物彫刻で知られる美術家。

### ピーチュ船長

反ナチスのドイツ人キリスト教徒 Gustav Pietsch (1893～1975) のこと。ユダヤ人に漁師や船乗りの訓練を受けさせ、彼らを救うため尽力した。

### 田原(たばら)

明子の父・源吉の実家があった山野村(現在の福山市山野町)近くの地名。

### 流浪の民

本作ではシンティ・ロマの人々を指す。

### ロマン・ロラン (1866～1944)

フランスの小説家・評論家、平和主義者。(本作登場作品:平和讃歌『平和の祭壇に』)

### ヘイハル・ハタルプト

テルアビブにあるコンサートホール。(現名称:チャールズ・プロソフマン・オーデトリウム)

### 女専

広島女子専門学校(現・広島県立大学)の略称。

キーウ(ウクライナ)、コヴェントリー(英国)、バーミヤン(アフガニスタン)、ドレスデン(ドイツ)、アヨーディヤー(インド)

長い歴史の中で、数々の戦争により破壊された都市。

### アナムネーシス(想起)

プラトンの想起説。「魂は輪廻において、生まれる前にアイデアを認識しているが、誕生と同時に忘却し、感覚などのきっかけで再び思い出す」

### 山岳部の知人

明子の弟と大学の山岳部仲間だった森下弘氏のこと。明子さんのピアノ修復のきっかけを作った人物。